



ぶどうの枝

2021年
冬号

宜しくお願い申し上げます。

千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏
牧師夫人 小濱 しのぶ

小濱守宏と申します。

今年3月まで、茨城県日立市にあります久慈川教会、つくば学園教会で牧会をさせて頂きました。今年の4月から千葉教会、北浦三育教会を兼牧となります。

どうぞ、宜しくお願い致します。

私の家族構成は、妻、しのぶと三人の息子がいます。上の二人の息子は看護師として働いています。三男は、現在高校三年生です。私と家内の出身は、沖縄県です。23歳の時に結婚し、横須賀シャロームに二人で働いていましたが26歳の時に牧師となるため、当時大多喜のキャンパスにありました英語学科を卒業し、神学科に進み1998年に牧師の働きを始めました。世田谷、山形、長野、ロマリンダ日本人教会、久慈川そして、千葉教会へと導かれました。

私たちは、この世では寄留者であり、本当の国籍は天にあると聖書に記されています。その言葉通り、天の住人らしい歩み、また、イエス様の来臨に備える事を第一とする教会生活を皆様と共に過ごしていきたいと願っています。

コロナの影響で安息日に皆様と対面で共に礼拝することができませんでしたが、10月から非常事態宣言、蔓延防止法が解除され礼拝を捧げることが出来、本当に感謝しています。コロナの感染防止、クラスターを発生させない事を土台にして伝道をしていきたいと思ひます。当分これまでの様な教会活動はできませんが、新たな伝道法や

交わりのプログラムが行えるよう努力していきたいと思ひます。

皆様との交わりを大切に、絆を深めながら、聖書に書いてあるよう終末の備えに取り組みたいと思ひます。皆様と心躍る聖書の学びを通して伝道できます事を感謝します。これから宜しくお願い致します。

小濱しのぶと申します。

4月に引っ越しをし、すぐに休会となり、教会での交わりが困難でしたが、これから対面で安息日に皆様とお会いできることを大変嬉しく思っています。

千葉教会の皆様と色々な場面でお付き合いできます事を心より楽しみにしています。主人ともども宜しくお願ひします。



安息日礼拝前に礼拝堂ステンドグラスとお花を背景に微笑む小濱牧師夫妻

目を覚ましていなさい

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症ですが、世界保健機関は(WHO)はこのウイルスによる感染症のことを“COVID-19”と名付けました。私たちは、「新型コロナ」という表現の方が分かりやすく言いやすいということもあるので“COVID-19”という表現は殆どしません。

ルカによる福音書21章にはイエスが弟子たちに、世の終わりの時の徴について、偽預言者の出現、戦争や戦争の噂、国や民族による敵対行為、大地震、飢饉、疫病、恐ろしい現象、著しい徴が天に現れ、これらのことが起こる前に、信徒に対する迫害が起こる。と語られています。

マタイによる福音書24章を見ると、イエスはこれらの現象はすべて、産みの苦しみの始まりでありまだ世の終わりではないと語っています。そして、24章14節で「そして、御国のこの福音はあらゆる民への証しとして、全世界に宣べ伝えられる。それから、終わりが来る。」と言われます。

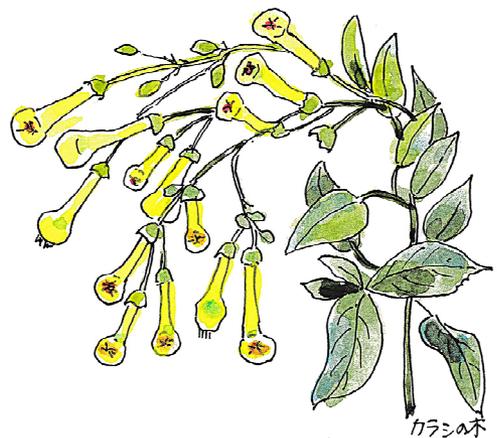
私たちの教会は、世の終わりに際してイエス・キリストが再び来る。再臨と呼んでいます。これが起こって復活があり、聖徒らは御国に上っていくと信じています。ですから大きな災害や今回の新型コロナウイルス感染症の様な世界的な“疫病”が起こると、再臨が近い、と考えてしまいます。

それらは確かに終わりの時代の兆候ではありますが、主が言われるように、まだ産みの苦しみの期間とも言えます。なぜなら、終わりが来るのは、「御国のこの福音はあらゆる民への証しとして、全世界に宣べ伝えられる。」ということが実現できなければならないからです。しかし、既に、世界的なネットインフラの構築が進んでいる現在、あらゆる言語で聖書のみ言葉がネット上に置かれていると想像するのは難しくありません。少なくとも、それは「御国のこの福音はあらゆる

民への証しとして、全世界に宣べ伝えられている。」という、環境的諸条件は整っていると推測することも出来ます。

しかも、テサロニケの信徒への手紙一5章1節～3節では「兄弟たち、その時と時期についてあなたがたには書き記す必要がありません。盗人が夜やって来るように、主の日は来るということ、あなたがた自身よく知っているからです。人々が「無事だ。安全だ」と言っているそのやさきに、突然、破滅が襲うのです。ちょうど妊婦の苦しみがやって来るのと同じで、決してそれから逃れられません。」と書かれています。

この世の終わりの時代に間違いなく、私たちは生きています。もし、世の人々が「無事だ。安全だ」と言いはじめたら、私たちは、主の日が近いと思い、同時に、一人でも多くの人々に「御国の福音」を語り告げなければなりません。主が、新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延をお許しになったのは、私たち信じる者に「目を覚ましていなさい。見よ、わたしはすぐに来る。」というメッセージを送ったと考えるべきです。



(からし種の木)

新型コロナ感染による教会休会を機に本格的ライブ配信を実現

千葉キリスト教会 IT担当 太田 博司

昨年1月末頃から、日本においても新型コロナが発生し感染が徐々に増えてきました。

2021年2月25日に政府より感染防止策が発表され、外出の自粛要請が求められました。

教会の集会も感染防止のため休会になりました。そういうわけで、渡邊長老より礼拝のライブ配信ができないかと相談がありました。すでに東京中央教会、天沼教会では、ライブ配信が行われていました。ライブ配信については、Youtube で動画を見て楽しんでいたので、そのうち私も個人的にやってみたいと思っていました。

それで、インターネットでライブ配信のやり方を調べてみました。世の中には親切な人がたくさんいてライブ配信する方法、ライブ配信を行った体験記などたくさんの事例が載っていたので非常に助かりました。

とにかく急ぐので、簡単な方法から始めることにしました。最初にYoutubeのアカウントを取得しました。教会のノートパソコンは、少し古く、内蔵カメラとマイクがなかったため外付けカメラと外付けマイクを購入し取り付けました。とりあえず3月からライブ配信することができました。

しかし、説教者とプロジェクターのスクリーンを同時に写して、良い画像を配信するに無理がありました。IT担当の篠田兄と相談して本格的なライブ配信ができるよう計画を立てました。カメラは2台設置し、音響は既存の設備を使い、PCのパワーポイントからの映像は分岐して、ライブ配信とプロジェクターのスクリーンと両方に使えるようにしました。

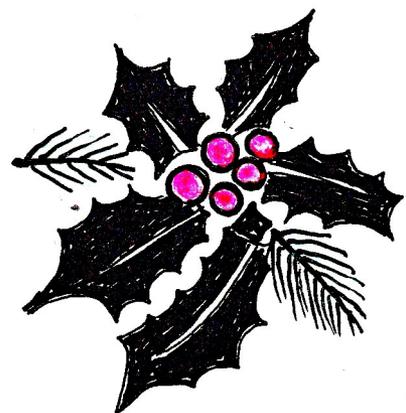
篠田兄は、オーディオマニアでカメラも趣味なので得意の音響、映像関係の機材の調達、配線工事をしていただきました。私は、パソコンが好きだったので、パソコンを改造し性能の向上ばかり、安定してライブ配信できるようにしました。

そして、6月に本格的なライブ配信が出来るようになりました。

ライブ配信ための費用は、中古のカメラ、パソコンの改造等で節約したので、当初20万で済みました。今後必要に応じて追加費用が発生すると思います。

2021年10月現在、安息日学校の配信を含めて170本配信しました。礼拝は、87本配信しました。ライブ配信後の視聴を含めて礼拝の平均視聴数は105回でした。結果から判断して当初の目的は達成されたと思います。中には、限定公開にもかかわらず、676回視聴された人気の説教もありました。

今後は一般公開するなど、伝道に役立つ配信など考えていきたいと考えております。



2020年8月1日に竹山信哉・則子ご夫妻、2021年3月21日には金田敏彦兄がバプテスマを受けられました。三人の兄弟姉妹の「証」を下記にご紹介します。

バプテスマ式の写真を11ページに掲載してあります。ご覧ください。

聖句『わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。』（ローマの信徒への手紙6章4節）

イエス様の愛に包まれて

千葉キリスト教会 竹山 信哉

私は広島・長崎に原爆が落とされた翌月、東京杉並区で生まれ、母が結核を病んでいたため、幼年期を祖母に育てられました。そうした環境が私の人生に大きな影響を与える、奔放な性格を形成して行ったのかも知れません。

やがて病から解放された母は、お寺の娘として生まれながらも、何故かキリスト教に関わる色々な場所に私を連れて出掛けて行きました。イエス様の像がある礼拝堂や、マリヤ像が置かれた庭を、母と歩いていた事を思い出します。

その母が、いつどの様にしてアドベンチストの教えに出逢い、そして洗礼を受けたのかはまったく知らぬままに、私は“孫悟空”の様に奔放で無鉄砲な心で社会を歩いて行きました。そんな私は、若くして大手流通業の管理職に就きながらも、上層部と対立し、長いものに巻かれる様な組織に嫌気がさし、長女が生まれたばかりであることも、多額のお金を借りて家を新築したことも意に返さず、33歳で会社を辞めてしまいました。

その後自分で興した飲食業は、15年後にバブル崩壊の波にもまれ、多額の借金を抱えて行きました。その頃の母は、私にクリスチャンになることを勧めるでもなく、多くを語らず見守る様な人でした。陰で祈ってくれたのでしょうか。

その祈りの力だったのでしょうか???債務

整理は順調に進み、わずかながらのお金が手元に残り、私はそのお金で障害者や病人の移動を手助けする<介護タクシー>の資格を取って再出発することになりました。

日々、障害や病気に苦しんでいる人達から「ありがとう」と言われる中で、私は次第に人の苦しみや辛さが感じられる様になって行ったのです。

そんな私に癌が見つかりました。ステージ4の進行癌でしたが、奇跡的に手術が成功して回復して行きました。しかし、試練は続き、今度は脇見運転の車に跳ね飛ばされ、肋骨と肺に重傷を負い、救命救急センターに運ばれました。

しかし、この癌と交通事故の苦しさの中で、なぜか私は<自分は生かされている>という想いと、これまでの自分の<罪>というモノが、心の底から湧き上がって来たのです。

<信じる者は我一人>と云う奔放で無鉄砲な生き方の中で、私は多くの人を苦しめたり傷つけたりして来たのではないだろうか???そして、人としても間違った道を幾つも歩いて来たのではないだろうか???と振り返りながら、それぞれの時代に残して来た罪に、なぜか今まで思ったこともない様な<赦し>を求める自分が居る事に気が付きました。

5ページに続く



そんな想いを抱きながら、生まれ育った東京を離れこの千葉県に終の住処を求めて移り住みました。亡き母、弟夫婦の祈りが導いてくれたのでしょう。8年前、母の葬儀・納骨をして下さった磯部先生が近くの千葉教会にいらっしゃる事が分かり、講演会に出席する機会を頂き、ある日我が家に立ち寄っても下さいました。それを機に聖

書研究に導かれて行きました。

今日、孫悟空の様に破天荒だった私を、本当に辛抱強く、見捨てることなく待っていて下さった<イエス様の愛>に包まれて、素晴らしい神の祝福を頂く事が出来ました。本当に本当に感謝しております。ありがとうございました。

神の子とされることに感謝

千葉キリスト教会 竹山 則子

本日は、神様のお導きと磯部牧師先生により、神の国と千葉教会のメンバーの一人に加えて頂きますことを深く感謝いたします。

私はS D A のクリスチャンの家庭に嫁いで46年になります。

娘が三育小学校に入学したことを機に、東京の関町教会には、折りに触れ出掛けてはいたものの、なかなか教理にも集中出来ず、教会出席も続けることが出来ずにいました。

これまでに、辛くて、苦しい時代が長くあったにも関わらず、困った時の神頼み、困らない時には、神様の事は忘れ、気持ちは外にばかり向いていました。そんな状態でしたので、自分から神様に近付いて行くことをしませんでした。そんな訳で、今日のこの日まで、こんなにも時間がかかってしまいました。

私たちは、東京、杉並区に長年住んでおりましたが、娘の結婚を機に、同居することになり佐倉市に転居してまもなく三年になります。

折しも、今年二月、新型コロナの影響で外出の自粛やマスク着用…等と騒ぎ出したころ、磯部牧師先生が私どもの自宅まで教材「真理への道」を持って来て下さったのをきっかけに勉強を始めました。

自粛、自粛の毎日で外出もできず時間は

たっぷりとなり、落ち着いて教材に向かい合う気持ちが出てきました。勉強を始めると、神様の創造されたものの素晴らしさや、イエス様の癒しや預言、そしてその成就、聖書にかかっている歴史的なことには驚くことや感動することがたくさんあり、だんだんと引き込まれて行きました。

何か、今までとは違う自分に気付き、神様が私に近付いて来て下さっているんだと感じました。まさに、これは私にとって、先日の礼拝の際に、教団の柴田先生がお話された「強いられた恵み」でありました。

人生百年と言われる昨今、すでに私は、残りの人生を考える歳になりました。これまでの自分を精算して幸せで穏やかで、神の子として新しく生まれ変わりたいと思います。

2012年11月、私たち夫婦のバプテスマを望みながらも88歳で眠りについた（関町教会員だった）姑、そしてすでに、信仰生活にある（同じく、関町教会員の）夫の弟夫婦の長年に渡る祈りと支えに感謝し、本日、夫婦同じくして、罪の許しと聖霊の内住を約束された神の子とされることに感謝申し上げます。

そして、今後とも私たち夫婦をどうぞ宜しくお願い致します。本日は、誠にありがとうございました。

神様との根競べ

千葉キリスト教会 金田 敏彦

私は高校1年生の時、初めて教会と言うところに行きました。私はキリスト教と出会ってから、何度も不可思議な体験をしました。にも拘わらず、神の存在を信じていませんでした。数えきれない程、色々な場所で、色々な人から、「洗礼」を受ける事を勧められました。私はかたくなに信仰に入る事を拒み続けました。

神の存在を信じる事が出来なかったからです。にも拘わらず、こうして洗礼を受けるに至りました。どんな経過で私の考えが変化したのか、三つの出来事をお話します。

一番目の出来事が起きたのは、私がキリスト教と出会って50年が過ぎ去った時です。前触れもなく妻にガンが見つかったのです。私はその時「神に人質をとられてしまった」と思いました。神の存在を信じていませんのに、神に、「もしお前が神の存在を信じれば、妻を救ってあげよう！」と言われた気がしました。幸い妻の病は大事に至らず、私は洗礼を受けずに済みました。

二番目の出来事は、約2年後に起こりました。今度は私がガンになりました。手術日の前夜、磯部先生が私の見舞いに来て下さいました。その晩の真夜中不思議な事が起きました。一眠りし、私は目を醒ました。その時です、輝く輪が数メートル先に見えたのです。その輪は、ゆっくりと回転していました。オレンジ色と朱色の混ざった、不思議な輪でした。夢でない事は確かです。何故なら、ベッド下にもっていたランプの光が、何かに反射しているのかと思い、覗いて確かめたからです。色が全く違いました。それは、ほんの1分程の

出来事でした。再度、束の間眠りました。夢を見ました。

そこは黄土色の乾いた地面、広い斜面を私は一人で登っていました。丘の上方には何千人もの人々が集まっていました。知人が沢山いました。千葉教会の方々も、既に亡き両親も、妻もいました。最前列で森田先生が、みんなが、大きく手招きをしてました。私は夢中で丘を登りました。おかしな夢を見たものです。夜が明ければ手術が始まるんだな、と考えました。

その時、アレ！と思いました。手術を受ける不安感が私から全く消えていました。手術に臨んでも、不安な気持ちは全く起こりませんでした。こんな不思議な体験しても、私は信仰には入りませんでした。

三番目の出来事はその1年後です。肺の中に転移が見つかりました。同時に、主治医は、病変を再検査して、適応出来る強力な抗がん剤を見つけたと言いました。正に絶望の淵から救われました。

私は、強い意志が作用し、劇的な状況が生まれ、救いの手が差伸べられた、と思えました。これこそ神の意志だ、と感じました。私は、「これでも、お前は神の存在を信じないのか！」と、言われた気がしました。神から決断を迫られたのです。

私は、「時は満ちた！」と考えました。そして、ついに白旗を上げたのです。磯部先生が今日の洗礼式を計画して下さいました。

皆さまに深く感謝致しております。これからの見守りを宜しくお願い致します。

コロナ禍、VBS（夏季聖書学校）は動画配信で

千葉キリスト教会 児童・青年伝道部長 丸山 敦子

昨年から続いているコロナ感染蔓延のため、今年も千葉教会では活動が制限されています。児童青年伝道部でも人を集めることができない状況の中、神様に喜ばれることを目標に話し合い、工作の動画配信をすることにしました。児童青年伝道部の中心聖句エフェソ2章10節「わたしたちは神に造られたものであり（口語訳では神の作品）」を心に留め、神の作品である私たちの体を守るという発想から“石けん作り”の工程を動画配信することにしました。

準備が進む中、賛美も取り入れようという提案があり、賛美収録も並行して行いました。主の愛に結ばれた神の作品をイメージして希望の讃美歌261番「主の愛に結ばれて」を一人ないし二人で別々に収録したものを一つに編集しました。編集に際して吉田翔兄の友人が関わってくださり、足りない部分を補ってくださいました。そのことは、神様のなせる配慮だと思ひ、担当者一同感謝の気持ちで一杯です。

石けん作り動画撮影の当日、教会の近くに住む中学生と高校生に手伝ってもらい、撮影の間中、楽しい雰囲気で行うことができました。石けん液をこぼしてしまうというハプニングもそのまま動画に撮影し、ユーモアたっぷりの動画になり、完成されたものを見た時、思わずほっこりしました。

小濱先生にも“体を守る”という観点から、私たちの体の中で生きていくために一番重要な臓器である心臓の働きを聖書の話を取り入れながら分かりやすくお話してくださいました。

動画編集の後、昨年同様に教会の児童青年伝道部に少しでも関わりのある方に手紙を出しました。この手紙の発想は水野姉の提案で、手書きで、動画を視聴して下さる

子供たちの名前を一人ずつ書いて、出すことにしました。

今回は祈祷会でも、この手紙と動画が神様に用いていただけるようにお祈りしました。神様は祈りに応えてくださる方です。何人かの方からメール等で返事を頂いたことは本当に感謝です。一つ聖句を読みます。ローマ14:18「このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。」

私は今回、このような経験したことのないことをするにあたり、今、お読みしたローマ書とエフェソの手紙を念頭に置いて皆で祈りつつ船出しました。その作業の中、今まで児童青年伝道部で築いてきた信頼関係が発揮され、それぞれが自分の役割を果たして一つになった気がします。足りないところは神様が助けてくれる経験もできたことは、本当に感謝です。

手を差し伸べてくれた人、お祈りで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

11ページのVBSの写真をご覧ください

VBSは2021年8月7日、12:30～14:00に動画を収録しました。8月28日（土）よりYou Tubeで視聴できるよう配信しました。

11ページには、配信用動画作成のために、近くに住む中学生の皆さんが“石けん作り”をしている写真と、配信の準備をする教会員の写真を掲載してあります。

VBSの配信You Tube動画は

以下のURL、QRコードから視聴できます

【URL】

https://www.youtube.com/watch?v=c_FlYgiApjw



再臨の希望

千葉キリスト教会 平山 ゆかり

イエスは答えて言われた、「よくよくあなたに言うておく。だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」
(ヨハネによる福音書3:3)

自己紹介がてら過去の自分と決別したい思いで書かせていただきます。

私は信州安曇野ののどかな田舎で生まれ育ちました。実家は兼業農家でした。5~6歳のころ仲良しの友達の弟が急に亡くなりました。身近に突然訪れたの「死」の意味が分からず、周囲は誰もきちんと答えてくれませんでした。こんなに大事なことを誰もわからないのだと、地の底に引きずり込まれたような恐怖を感じ、母のエプロンに顔をうずめて大泣きをした記憶があります。その後は心の扉に鍵をかけて考えることをやめました。

20代で結婚し、子育ての勉強会をきっかけにSDA小金井教会に行くようになりました。実践的で素晴らしい学びでしたが、キリスト教を受け入れるには至りませんでした。

友人に思いきって「キリスト教は結局何を言いたいのか？」と尋ねた時、「世の終わりにキリストが迎えに来る。信じる者は死んでもよみがえって天国に行ける」という答えがあり、幼い時に感じた暗やみの先の希望が見えて、心の扉が一気に開いたのを鮮明に思えています。

その後成田に引っ越しバプテスマを受け、3人の子どもを連れて教会に通いました。子供たちが大きくなると、私のライフワークは禁煙活動が中心になりました。少しずつ講話の依頼も入るようになり非常にやりがいを感じていました。このためにアドベンチストになったのだと思い込んでいました。

特に名古屋での10年間は目の回る日々で

した。教会は80人の出席者の半数が外国人で、気づくと児童伝道・書記・書籍・音楽などの長や副執事長など何役も掛け持ちしていました。

職場は救急外来でしたから、医療の学びや教会準備のために毎日の睡眠時間が3~4時間になりました。VBSやクリスマス会などの行事前は徹夜が当たり前になり、教会には戦場に行くような気分でした。

喜びよりも義務感と意地だけで続けました。これだけ頑張っているのだから神様も大目に見て天国に入れてくれるのではなどと浅はかにも思っていました。反動でやりたいことは何でもやってやろうと、ネパール医療ボランティアに5回、市民コーラスにも入り舞台上で第九や受難曲などの大曲を歌いました。何度か海外旅行もしました。フィリピンに短期留学にも行きました。自分中心に世界が広がっているような気持ちになり、あくなき自己探求に歯止めが利かなくなりました。

一昨年春、主人の転勤で15年ぶりに千葉に戻りました。勤め始めてすぐに、小児禁煙学術集会の次の事務局長という大役を任され、準備は非常に大変でしたが苦ではありませんでした。むしろ以前よりももっと精力的に動き回り、11月には山形の大きな学会に出向いて主催する学術集会をアピールし、意気揚々と帰ってきました。

9ページに続く



・・・ところがそのわずか1週間後に価値観が大きく変わる出来事がありました。詳しくは書けませんが、雷に打たれたような衝撃を受けました。

今自分は、ダニエルと黙示録の預言の本当の終末にいる事、イエス様の再臨は非常に切迫していることを知りました。喜びよりも、全く準備ができていない自分への怒りを感じました。本来アドベンチストの信仰が何であるかも全くわかっていませんでした。完全ノックダウンでした。悶々としていたある晩寝ていたら「一人で立て」という声が聞こえて、「ハイ！」と立ちあがって敬礼していました。

あれほど熱心だった禁煙活動にすっかり関心がなくなりました。結局新型コロナがやって来て学術集会は当日中止という大変な事態になりました。しかし残念という思いは全くなく、やっと解放されたという喜びの方が大きかったです。

昨年3月からようやく聖書と証のふみの研究が始まりました。初めは何から手を付けてよいのかわからず途方に就いていました。しかし良い信仰の友に恵まれ、真理の光が少しずつ与えられて「現代の真理」であるイエス様の「最後の贖い」と「三天使の使命」の意味が徐々に理解できるように

なってきました。

聖書にも証のふみにもこんなにはっきり書かれているのに、なぜ今まで気づかなかったのか不思議でした。そこにはサタンの巧妙な策略があることを知りました。結局今までの知識や常識は全く救いの役に立たないことがわかりました。

自分は元の生活に戻りたいと思いません。イエス様が天の至聖所に確かにおられ、もうすぐ私たちを迎えに来られます。時々自分はもう駄目ではないかと思ってしまうこともあります。聖霊によって真理をしっかりと理解して、イエス様にお会いする準備をしたいです。

「わたしたちの救いは、聖書の中の真理を知ることにかかっている。わたしたちがこの知識を持つことは、神のみこころである。尊い聖書を、飢えかわくように、さぐり、調べなさい。ちょうど、鉦夫が金鉦を発見するために、地中深くさぐるように、神の言葉を調べなさい。あなたの神との関係と、あなたに対する神のみこころとを確かめるまでは、決して探究をやめてはならないのである。」(E・Gホワイト『キリストの実物教訓』第8章「隠された宝物」一宝の探求-より)



苦難の中にあっても感謝して平安のうちに歩もう

千葉キリスト教会 男執事長 栗山 哲次

この原稿を書いている今は10月下旬、毎日の新型コロナウイルスの新規感染者数は、ワクチンが行き渡ってきたこともあって減少傾向にあり、長く制限を強いられてきた緊急事態宣言も9月30日から解除されています。

コロナ禍の影響で、飲食業や旅館・ホテル、その他多くの業種で、感染拡大を防ぐために営業の休止や制限をしなければならぬ事態となりました。そこで働く人、またその家族や関係者にとって大変辛いことだったと思います。

また新型コロナ感染者に対応する医療機関や保健所等で働く方達にとっては、まだまだ大変な状況が続いており、今後感染が再拡大する可能性も考えると多くの方が先が見えない不安の中にあるのではないのでしょうか。

長期化するコロナ禍で先行き不透明な日々が続く、自分の未来に不安を感じ精神的に不安定な状態になってしまう人が増えているということも、決して他人ごとではないと感じます。では、このような不安を心の中から取り除くためには、どうすればよいのでしょうか。

「自己肯定感」という言葉を最近目にする機会が増えている方も多いかと思えます。危機的な精神状況を乗り越えるためには、「自分は自分で大丈夫だ。」と自信を持つこと、自分自身を尊重し存在を肯定すること、つまり「自己肯定感」を高めることが大切だということです。

この感情が低い状態にいると、家族や友人との人間関係、また仕事をするうえでも上手くいかない状況に陥ってしまうのではないのでしょうか。「私はダメな人間だ」と悲観的になっている人は表情も暗く、モチ

ベーションも上がらず、発言も前向きにはならず、その気持ちは接する人にも伝わってしまうからです。

それでは、皆さんはどれくらいの自己肯定感を持っているのでしょうか。

・健康で身体に不安がない。・家族が大好きだ。・友人や職場での人間関係が良好だ。・仕事(勉強)が順調でやりがいがある。・経済的に不安がない。・趣味が充実していて楽しい。

これらの項目に多くあてはまる人は、自己肯定感が高いと言えるのではないのでしょうか。では、反対に殆どあてはまらないという人は、自己肯定感を高く保つことができないのでしょうか。

聖書の中から、イザヤ書43章の御言葉を見てみます。「あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛するがゆえに、あなたの代りに人を与え、あなたの命の代りに民を与える。恐れるな、わたしはあなたと共にいる。．．。」

神様は、「あなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。私はあなたと共にいる。」と語りかけて下さっています。私達は自分の力ではどうにもできない問題を抱えていても、神様につながることによってそのままの状態でも神様の前に十分な価値があり、愛していただくことができる存在なのです。

この記事が皆さんがご覧になる頃に世界がどのような状況になっているのかを、予め知ることはできませんが、たとえ苦難の中にあっても神様のお守りと祝福があることを信じ、感謝して平安のうちに歩んでいきたいと思えます。

【P4, 5】バプステマ式での「宣誓」をされる竹山ご夫妻



【P4, 5】お祝いを受け取られる竹山ご夫妻



【P6】バプテスマ式で「証」をされる金田兄



【P7】動画配信の準備をしています。



【P7】動画配信のための“石けん作り”をしています



コロナの影響で十分な活動が出来ず申し訳ございません

ぶどうの枝2021冬号は2020春号から1年6か月ぶりの発行となります。その間、緊急事態宣言が続き、教会は閉鎖を余儀なくされ礼拝はオンライン礼拝となりました。10月1日緊急事態・蔓延防止が解除され、教会も万全の感染予防をしながら再開いたしました。

この間、皆様とは対面でお会い出来ず、様々な集会も取り止め、皆様には辛い思いをさせてしまい申し訳なく存じております。

しばらくは、昼食の中止や午後の集会の原則取り止め等、万全の予防対策を継続してまいります。感染状況が早く収まり、少しずつでも活動を再開出来る日が来るのを皆様と共に待ち望みたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

定期集会（開催場所：千葉キリスト教会 集会室、礼拝堂）

◇ 菜食料理教室 しばらくお休みです。

☆日時：毎月、第一月曜日に開催します。午前10時～13時。

◇ 聖書セミナー オンラインで行っています。

☆日時：毎月、毎週水曜日。午前10時～11時30分。

☆第一、第三水曜日は「イエスのみ名によって」を研究します。

☆第二、第四水曜日は「出エジプト記」を研究します。

☆第一、第三水曜日講師：千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏

☆第二、第四水曜日講師：前千葉キリスト教会 牧師 磯部 豊喜

◇ サンセット・バイブル・カフェ しばらくお休みです。

☆日時：奇数月の第四土曜日の夕べ開店します。午後5時30分～7時30分。

◇ チャレンジクッキング しばらくお休みです。

☆日時：奇数月の第四日曜日。午後1時～3時。

☆対象：子供の皆様（小学生以下は保護者の御同伴をお願いします。）

◇ チャーチコンサート しばらくお休みです。

☆日時：4、6、10、12月の第4日曜日。開演午後2時。



安息日学校（毎週土曜日）

☆賛美礼拝：しばらく中止

☆聖書の学び：午前10:00～10:40

安息日礼拝（毎週土曜日）

☆千葉キリスト教会：午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家：午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夕午後6時及び水曜日朝午前7時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」2021年冬号をお届けします。コロナの影響で残念ながら1年半休刊致しました。教会活動が再開し季刊発行できる日を待ち望みます。良き新年をお迎えください。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り:3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話:043(231)3620

FAX:043(231)1634

Email:sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ:

sda-chiba.org

★発行責任者:

小濱守宏 牧師

★スタッフ:

酒井 闔 太田 博司

綿引 秀子